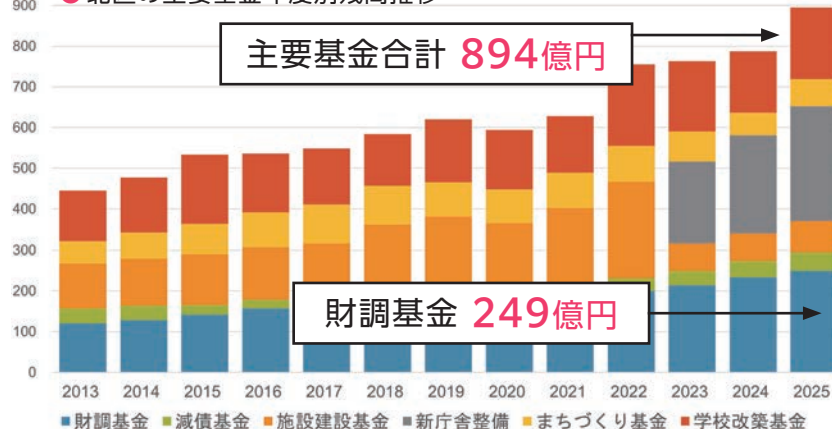


積み立てよりも暮らし応援に

北区が総額2120億円の2026年度予算案を発表

● 北区の主要基金年度別残高推移



北区は、24日から始まる北区議会第1回定例会（予算議会）に向け、2026年度予算案を発表しました。

一般会計予算は、特別区税、特別区交付金などが軒並み増収となり、前年度比10・6%増、総額2120億円の過去最大規模となる一方、使い道が自由で暮らしの予算に活用できる財政

年度末・新年度で特定目的基金に80億円を積み立て

調整基金が249億円に、特定目的基金を含む6つの主要基金の合計が約894億円へと、いずれも過去最高の金額に積み上がっています。

年度末の補正予算で、特定目的基金に70億円（新庁舎整備30億円、まちづくり10億円、学校改築30億円）を積み増した上で、新年度予算ではさらに新庁舎整備に10億円を積み立て計上しています。

物価の高騰が続く、区民の暮らしや中小業者の経営が深刻になる下で、大幅な増収分は、積み立てよりも暮らし・営業の支援に回すよう、これから始まる予算審議の中で、しっかりと求めていきます。（のの山けん）

● 特定目的基金への積み立て計上額（年度末・新年度）

基金	新庁舎整備	まちづくり	学校改築	合計
年度末	30億円	10億円	30億円	70億円
新年度	10億円	—	—	—
合計	40億円	10億円	30億円	80億円

日本共産党北区議員団の代表質問

2月24日(火)
13:15頃
山崎 たい子区議

- 1 北区平和都市宣言40周年の取り組みについて
- 2 物価高から、くらしと営業を守るために
- 3 人権を尊重する施策の拡充を
- 4 子ども・若者の声をいかす北区を



北区新年度予算案 新規事業を紹介します

学生の奨学金返済を支援

● 予算額 1714.5万円

意欲ある若者の学びを支援し、区内定住を促進するため、日本学生支援機構の第一種学資貸与者を対象に奨学金返済を支援する（募集 100 名）。



エアコン購入費を助成

● 予算額 8069.9万円

自宅にエアコンがない、または故障している住民税非課税の高齢者・障害者・ひとり親世帯、生活保護利用世帯にエアコンの購入費用を助成する。



全保育園に看護師を配置

● 予算額 1億2147万円

0歳児の定員にかかわらず常勤の看護師配置にかかる人件費相当額を支援し、看護師の配置を40園から全私立保育園55園へ拡大する。



修学旅行等の負担を軽減

● 予算額 3億3444.2万円

区立小中学校・義務教育学校の修学旅行や宿泊事業（岩井・日光等）について、参加費用の一部を公費負担とすることで保護者負担の軽減を図る。



携帯トイレを全区民に配布

● 予算額 5億5742.7万円

大規模災害時に備え、携帯トイレ3日分（1人あたり15回分）と、携帯トイレの使い方などを解説した啓発リーフレットを全区民に送付する。



赤西地域コミバス試験運行

● 予算額 63.7万円

浮間地域に続いて、赤羽西地域でコミュニティバス運行計画を作成し、事業者を選定するとともに、2026年度中の試験運行開始をめざす。



王子駅前にタワマン再開発計画

北区で最大、190m 50階のツインタワー

1月26日に開かれた第4回王子共創会議で、王子駅周辺まちづくりの進捗状況が報告され、民間事業者が検討している市街地再開発計画では、川口市のエルザタワーを超える、高さ190m、50階のタワーマンション2棟を建てる計画が示されました。（のの山けん）



王子共創会議の報告資料より